

利便性向上のため、検査項目ごとに必要な検体材料・検体量・採取容器・保存方法/検査方法さらには基準範囲等について、検査案内(QMS-共-0013, 第3版)から該当箇所を抽出して収載しています。詳細は、院内にある[検査案内]を参照され、ご不明な点は、中央検査部受付までご相談ください。

検査一覧

Web 掲載用 (2025 年度)

INF-共-0008 ver 3 検査一覧

29.生化学検査一覧

■緊急測定対象項目 空欄：該当なし

29.1 酵素関連物質

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加 可能時間	備考
AST (GOT)	血清	0.5	S01	室温	JSCC 標準化対応法	13~30 (U/L)	1	7 日間	溶血では高値を示します。
ALT (GPT)	血清	0.5	S01			M : 10~42 (U/L) F : 7~23 (U/L)			
LD (LDH)	血清	0.5	S01		IFCC 対応法	124~222 (U/L)			溶血では高値を示します。
	穿刺液	0.5	B01			なし (U/L)		不可	
アルカリフォスファターゼ (ALP)	血清	0.5	S01			38~113 (U/L)	1	7 日間	溶血では低値を示します。
γ -GT (γ -GPT)	血清	0.5	S01		JSCC 標準化対応法	M : 13~64 (U/L) F : 9~32 (U/L)			
コリンエステラーゼ (ChE)	血清	0.5	S01			M : 240~486 (U/L) F : 201~42 (U/L)			
アミラーゼ (AMY)	血清	0.5	S01		JSCC 標準化対応法 (Et-G7-pNP 基質)	44~132 (U/L)			
	部分尿	1.0	U01			64~617 (U/L)		不可	
	穿刺液	0.5	B01			なし (U/L)			
P 型アミラーゼ (P-AMY)	血清	0.5	S01		免疫阻害法	16~52 (U/L)		7 日間	
CK (CPK)	血清	0.5	S01		JSCC 標準化対応法	M : 59~248 (U/L) F : 41~153 (U/L)			
CK - MB 定量 (CPK-MB)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫 比濁法	0~20 (U/L)			
尿 N-アセチル- β -D- グルコサミニダーゼ (U-NAG)	部分尿	1.0	U01		比色法	8.0 以下 (IU/L)		不可	
マトリックスメタロプロチナーゼ-3 (MMP-3)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫 比濁法	17.3~59.7 (ng/mL)		7 日間	

29.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加 可能時間	備考
総蛋白 (TP)	血清	0.5	S01	室温	ビュレット法	6.6~8.1 (g/d L)	1	7 日間	
	穿刺液	0.5	B01			なし (g/dL)		不可	
尿蛋白定量	部分尿	1.0	U01		ピロガロールレッド法	30 以下 (mg/dL)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	蓄尿	1.0	U03			120 以下 (mg/day)			
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dl)			
髄液蛋白定量	髄液	1.0	B01			10~40 (mg/dL)			
アルブミン (ALB)	血清	0.5	S01		BCP改良法	4.1~5.1 (g/dL)		7 日間	
	穿刺液	0.5	B01			なし (g/dL)			
A/G 比					計算法	1.32~2.23			AG 比 = ALB/(TP-ALB)
尿微量アルブミン定量	蓄尿	1.0	U03	室温	免疫比濁法	16.0 以下 (mg/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
尿微量アルブミン定量 (クレアチニン換算値)	部分尿	1.0	U01		計算法	20 以下 (mg/g.C)		不可	A/C 比= ALB/CRE
髄液アルブミン定量	髄液	1.0	B01		免疫比濁法	なし (mg/dL)		7 日間	食事の影響を受ける ので、空腹時に採血 して下さい。
トリグリセリド (TG)	血清	0.5	S01		FG 消去酵素法	40~149 (mg/dL)			
総コレステロール (T-CHO)	血清	0.5	S01		コレステロール 酸化酵素法	120~219 (mg/dl)			
HDL コレステロール (HDL-C)	血清	0.5	S01		阻害による直接法 (選択的抑制法)	40~79 (mg/dl)			
LDL コレステロール (LDL-C) 直接法	血清	0.5	S01		直接法 (選択的可溶化法)	40~139 (mg/dl)			
LDL コレステロール Friedewald 式					T-CHO、HDL-C、TG より演算します。 TG 400mg/dL 未満にの み用いられます。	40~139 (mg/dL)			F 式= TC-HDL-C-TG/5
総ビリルビン (T-Bil)	血清	0.5	S01	室温	バナジン酸酸化法	0.4~1.5 (mg/dL)			
直接ビリルビン (D-Bil)	血清	0.5	S01			0.0~0.4 (mgdL)			

29.3 低分子窒素化合物、電解質

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
アンモニア (NH ₃)	血漿	0.5	P04	不可	酵素法 (NADS・G6P-DH 系)	12~66 (μg/dL)	1	不可	採血後、速やかに氷 中運搬にて提出して 下さい。室温放置で 上昇します。
静脈血 総トリホスホ (TKB)	血漿	0.5	P04		酵素サイクリング法	130 以下 (μmol/L)			採血後、速やかに氷 中運搬にて提出して 下さい
静脈血 3-ヒドロキシ酪酸 (HB)	血漿	0.5	P04			85 以下 (μmol/L)			採血後、速やかに氷 中運搬にて提出して 下さい
クレアチニン	血清	0.5	S01	室温	酵素法 (クエアチニナーゼ - HMMPS 法)	0.46~0.79 (mg/dL)		7 日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			1.0~2.0 (mg/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下 さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)			
eGFR						18 歳以上に適用 (小児は設定なし) M : 60 (mL/分) 以上 F : 60 (mL/分) 以上		7 日間	M : 推算 GFR=194×CRE ⁻¹ 1.094×年齢 ^{-0.287} F : 推算 GFR=194×CRE ⁻¹ 1.094×年齢 ^{-0.287} 0.287×0.739
24 時間内因性 クレアチンクリアランス	血清	0.5	S01	室温	酵素法 (クエアチニナーゼ - HMMPS 法)	60 以上 (mL/分)		3 日間	身長、体重、蓄尿量 を記載して下さい。
	蓄尿	1.0	U03						
尿酸 (UA)	血清	0.5	S01		ウリカーゼ HMMPS 法	2.6~5.5 (mg/dL)		7 日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			0.4~1.0 (mg/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下 さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)			

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
尿素窒素 (BUN)	血清	0.5	S01	室温	ウリカーゼ GLDH・ ICDH・UV 法 (アンモニア消去)	8~20 (mg/dL)		7 日間	
	部分尿	1.0	U01			8~1,300 (mg/dL)	1	不可	
	蓄尿	1.0	U03			7.0~13.0 (mg/day)		7 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)		3 日間	
ナトリウム (Na)	血清	0.5	S01		電極法	138~145 (mEq/L)	1	7 日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mEq/L)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			70~250 (mEq/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mEq/L)			
クロール (Cl)	血清	0.5	S01			101~108 (mEq/L)	1	7 日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mEq/L)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			70~250 (mEq/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	髄液	1.0	B01			120~128 (mEq/L)		7 日間	
	透析液	1.0	B07			なし (mEq/L)		3 日間	
カリウム (K)	血清	0.5	S01			3.6~4.8 (mEq/L)	1	7 日間	溶血では高値を示します。
	部分尿	1.0	U01			なし (mEq/L)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			25~100 (mEq/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mEq/L)			
マグネシウム (Mg)	血清	0.5	S01		酵素法	1.8~2.5 (mg/dL)	1	7 日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			50~200 (mg/day)		3 日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)			

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
カルシウム (Ca)	血清	0.5	S01	室温	アルセナゾⅢ比色法	8.8~10.1 (mg/dL)		7日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			100~300 (mg/day)	1	3日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)			
無機リン (IP)	血清	0.5	S01		PNP/XDH 法	2.7~4.6 (mg/dL)		7日間	
	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			340~2,000 (mg/day)		3日間	蓄尿量を記載して下さい。
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)			
尿浸透圧	部分尿	1.0	U01		氷点降下法	50~1300 (mOsm/Kg)		不可	
血液浸透圧	血清	0.5	S01			275~290 (mOsm/Kg)		7日間	

29.4 糖質関連物質、生体微量金属

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
グルコース (Glu)	血漿	0.5	P03	室温	電極法	73~109 (mg/dL)	1	1日間	食事による影響を受けるので、空腹時に採血して下さい。
	部分尿	1.0	U01		HK-G6-PDH 法	0.04 以下 (g/dL)		不可	
	蓄尿	1.0	U03			0.08 以下 (g/day)		3日間	蓄尿量を記載して下さい。
	髄液	1.0	B01			40~70 (mg/dL)		7日間	
	透析液	1.0	B07			なし (mg/dL)		3日間	
ヘモグロビン A1c (HbA1c)	血液	2.0	P03		HPLC 法	4.9~6.0 (%)		2日間	
ヘモグロビン F	血液	2.0	P03			1.1 以下 (%)			
グリコアルブミン (GA)	血清	0.5	S01		酵素法	11.0~16.0 (%)	7日間		
鉄 (Fe)	血清	0.5	S01		Nitroso - PSAP 法	40~188 (μg/dL)			
不飽和鉄結合能 (UIBC)	血清	0.5	S01			設定なし (μg/dL)			
銅 (Cu)	血清	0.5	S01		比色法	66~130 (μg/dL)			
亜鉛 (Zn)	血清	0.5	S01		直接法(5-Br-PAPS)	68~113 (μg/dL)			

29.5 負荷試験

時間種を指定して下さい。

依頼項目数の上限はありませんが必要最小限にとどめて下さい。

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
糖負荷試験 (血糖)	血漿	0.5	P03	室温	HK-G6-PDH 法	なし (mg/dL)	1	2 日間	
糖負荷試験 (インスリン)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	なし (μU/mL)		7 日間	溶血では低値を示します。
糖負荷試験 (C-ペプチド)	血清	0.5	S01			なし (ng/mL)			
糖負荷試験 (尿糖)	部分尿	1.0	U01		HK-G6-PDH 法	なし (g/dL)		3 日間	
下垂体前葉負荷試験 (GH)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	なし (ng/mL)		7 日間	
下垂体前葉負荷試験 (PRL)	血清	0.5	S01			なし (ng/mL)			
下垂体前葉負荷試験 (TSH)	血清	0.5	S01			なし (μIU/mL)			
下垂体前葉負荷試験 (LH)	血清	0.5	S01			なし (ng/mL)			
下垂体前葉負荷試験 (FSH)	血清	0.5	S01			なし (ng/mL)			
下垂体前葉負荷試験 (ACTH)	血漿	0.5	P01			なし (pg/mL)			採血後、速やかに 氷中運搬にて提出 して下さい。溶 血、室温放置で低 値を示します。
下垂体前葉負荷試験 (血糖)	血漿	0.5	P03	室温	HK-G6-PDH 法	なし (mg/dL)		2 日間	
下垂体後葉負荷試験 (尿量・尿比重・尿浸透圧)	部分尿	全量 提出	U01		尿比重：屈折計法 尿浸透圧：氷点降下法	なし 尿量 (mL) 尿浸透(mOsm/Kg)		不可	
下垂体後葉負荷試験 (血液浸透圧)	血清	0.5	S01		氷点降下法	なし (mOsm/Kg)		7 日間	
下垂体後葉負荷試験 (血液 Na・K・Cl)	血清	0.5	S01		電極法	なし (mEq/L)			K は溶血では高値 を示します。
副甲状腺負荷/副腎皮質負荷試験 (コルチゾール)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	なし (μg/dL)			
副甲状腺負荷/副腎皮質負荷試験 (カルシウム)	血清	0.5	S01		アルセナソⅢ比色法	なし (mg/dL)			
副甲状腺負荷/副腎皮質負荷試験 (無機リン)	血清	0.5	S01		PNP/XDH 法	なし (mg/dL)		不可	
副甲状腺負荷/副腎皮質負荷試験 (尿無機リン)	部分尿	1.0	U01			なし (mg/dL)			
副甲状腺負荷/副腎皮質負荷試験 (尿クレアチニン)	部分尿	1.0	U01		酵素法 (クエアチナーゼ - HMMPS 法)	設定なし (mg/dL)			

30 免疫学の検査一覧

■ 緊急測定対象項目 空欄：該当なし

30.1 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
C反応性蛋白 (CRP)	血清	0.5	S01	室温	ラテックス免疫比濁法	0.14 以下 (mg/dL)	1	7 日間	
微量C反応性蛋白 (微量 CRP)	血清	0.5	S01			99 以下 (mg/dL)			
フェリチン (Ferr)	血清	0.5	S01			M : 30~310 (ng/mL) F : 3~120 (ng/mL)			
トランスサイレチン (TTR)	血清	0.5	S01			22~40 (mg/dL)			
ハプトグロビン (Hp)	血清	0.5	S01		免疫比濁法	19~170 (mg/dL)			
β 2 マイクログロブリン (β2MG)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫比濁法	0.8~2.4 (mg/dL)			
	部分尿	1.0	U01			250 以下 (μg/L)		不可	
高感度心筋トロポニン I (トロポニン・HS)	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA法)	26.2 以下 (pg/mL)		7 日間	
シアリル糖鎖抗原 KL-6 (KL-6)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫比濁法	500 未満 (U/mL)			
免疫グロブリン G (IgG)	血清	0.5	S01			861~1,747 (mg/dL)			
髄液免疫グロブリン G (L-IgG)免疫 比濁法	髄液	1.0	B01		免疫比濁法	なし (mg/dL)			
免疫グロブリン A (IgA)	血清	0.5	S01			93~393 (mg/dL)			
免疫グロブリン M (IgM)	血清	0.5	S01			M : 33~183 (mg/dL) F : 50~269 (mg/dL)			
免疫グロブリン E (IgE)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫比濁法	361 以下 (IU/mL)			
クリオフィブリン 定性	血漿	0.5	P06		寒冷沈殿法	陰性		不可	クリオグロブリン は外部委託になり ます。
血清補体価 (CH50)	血清	0.5	S01	室温	リボソーム免疫測定法	31.6~57.6 (U/mL)	1	7 日間	
補体成分 C3	血清	0.5	S01		免疫比濁法	73~138 (mg/dL)			
補体成分 C4	血清	0.5	S01			11~31 (mg/dL)			

30.2 感染症関連

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
梅毒脂質抗体 (RPR)	血清	0.5	S01	室温	ラテックス免疫比濁法	1.0 未満 (R.U)	1	7 日間	
TP-Ab	血清	0.5	S01			10 未満 (T.U)			
HBsAg	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	0.04 以下 (IU/mL)			
HBsAb	血清	0.5	S01			9.99 以下 (mIU/mL)			
HBcAb	血清	0.5	S01			0.99 以下 (S/CO)			
HBeAg	血清	0.5	S01			1.0 未満 (S/CO)			
HBeAb	血清	0.5	S01			50 未満 (%Inh)			
HBV DNA 定量	血清	0.7	S05		リアルタイム PCR	1.0 未満 (LogIU/mL) 検出せず	2～5		開栓禁止
HCVAb	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	0.99 以下 (S/CO)	1		
HCV RNA 定量	血清	0.7	S05		リアルタイム PCR	1.2 未満 (logIU/mL) 検出せず	3～5		開栓禁止
HIV Ag/Ab	血清	0.5	S01	室温	化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	1.0 未満 (S/CO)	1		
HIV RNA 定量	血清	1.0	S04		リアルタイム PCR	20 未満 (copy/mL) 検出せず	3～7		開栓禁止
ヒトT細胞白血病ウイルスⅠ/Ⅱ 抗体 (HTLV1Ab)	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	1.0 未満 (S/CO)	1		
ヘリコバクターピロリ感染症									
便中ヘリコバクターピロリ抗原	便	小指 頭大	F03	室温	イムノクロマトグラフ イー法	陰性	1	不可	2～8℃で 72 時間保存 可能。下痢便では検査 不可。
尿素呼吸試験	呼吸 前・後 各 250		呼吸採 取バッ グ	室温	赤外分光分析 (POC-one 赤外分光分析装置)	2.5 未満			電子カルテより予約 枠を取得して下さい。 検査は採血室にて行 います。食後 4 時間 以内は避けて下さい。 測定日：月曜～土曜 日(夜間・休日不可) 採血室にて予約時に 検査説明を行います。
プロカルシトニン (PCT)	血清	0.5	S01		ECLIA 法	26.2 以下 (pg/mL)		7 日間	

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
β -D グルカン	血液	3.0	P08		比色時間分析法	11 以下 (pg/mL)	1~2	不可	採血直前に開封し、無菌的に採取する。平日午後2時までに提出された検体は、当日報告となります。検査結果を急がれる場合は、別途連絡ください。

30.3 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
α -フェトプロテイン (AFP)	血清	0.5	S01	室温	化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	10.0 以下 (ng/mL)	1	7 日間	
癌胎児性抗原 (CEA)	血清	0.5	S01			5.0 以下 (ng/mL)			
穿刺液		0.5	B01			なし (ng/mL)			
前立腺特異抗原 (PSA)	血清	0.5	S01			4.00 以下 (ng/mL)			
CA19-9	血清	0.5	S01			37.0 以下 (U/mL)			
CA125	血清	0.5	S01			35.0 以下 (U/mL)			
ガストリン放出ペプチド前駆体 (Pro-GRP)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	75.0 以下 (pg/mL)			
PIVKA II	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	40.0 以下 (mAU/mL)			
シフラ (CYFRA)	血清	0.5	S01			2.1 以下 (ng/mL)			
可溶性インターロイキン受容体 (sIL-2R)	血清	0.5	S01			121~61 (U/mL)			
甲状腺刺激ホルモン (TSH)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	0.50~5.00 (μ IU/mL)			
遊離トリヨード サイロニン (FT3)	血清	0.5	S01			2.30-4.00 (pg/mL)			
遊離サイロキシシン (FT4)	血清	0.5	S01			0.90-1.70 (ng/dL)			
サイログロブリン (Tg)	血清	0.5	S01			33.7 以下 (ng/mL)			
副甲状腺ホルモン (I-PTH)	血清	0.5	S01			10.3-65.9 (pg/mL)			
コルチゾール (CORT)	血清	0.5	S01			2.96-19.60 (μ g/dL)			
副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	血漿	0.5	P01			7.2-63.3 (pg/mL)			採血後、速やかに氷中運搬にて提出して下さい。溶血、室温放置で低値を示します。

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
成長ホルモン (GH)	血清	0.5	S01	室温	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	0.13~9.88 (ng/mL)	1	7 日間	
ソマトメジン C	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			
C ペプチド (CPR)	血清	0.5	S01			0.8-2.5 (ng/mL)			
	部分尿	1.0	U01			なし (ng/mL)		不可	
	蓄尿	1.0	U06			22.8-155.2 (mg/day)		3 日間	あらかじめ専用安定 化剤を蓄尿容器に入 れて蓄尿を行って下 さい。他項目との同時 依頼はできません。蓄 尿量を記載して下さ い。
インスリン	血清	0.5	S01	不可	化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	18.7 以下 (mU/mL)		7 日間	溶血では低値を示し ます。
ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド (BNP)	血漿	0.5	P06			18.4 以下 (pg/mL)			採血後、速やかに氷中 運搬にて提出して下 さい。溶血では低値を 示します。
ヒト脳性 Na 利尿ペプチド前駆体 N 端フラグメント (Nt-proBNP)	血清	0.5	S01	室温	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	125 以下 (pg/mL)			
ヒト絨毛性ゴナドトロピン (hCG)	血清	0.5	S01			3.0 以下 (mIU/mL)			
プロラクチン (PRL)	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			
黄体形成ホルモン (LH)	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			
卵胞刺激ホルモン (FSH)	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			
エストラジオール (E2)	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			
プロゲステロン (PROG)	血清	0.5	S01			下記参照 (ng/mL)			

ソマトメジン C 基準値

年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性
0	11～149	15～154	26	119～	146～	52	86～242	78～213	78	45～172	48～155
1	14～148	23～186	27	116～	141～	53	85～240	77～212	79	43～167	44～152
2	18～154	32～213	28	114～	137～	54	84～239	76～211	≥80	41～163	43～149
3	24～164	40～227	29	111～	133～	55	84～238	75～210			
4	32～176	48～238	30	109～	129～	56	83～237	74～208			
5	44～193	56～252	31	107～	126～	57	82～236	73～207			
6	55～215	69～287	32	105～	122～	58	81～235	72～205			
7	63～247	89～357	33	103～	119～	59	80～233	71～203			
8	72～292	111～	34	102～	115～	60	79～232	70～201			
9	84～350	133～	35	100～	112～	61	77～230	69～198			
10	99～423	155～	36	99～275	109～	62	76～228	68～196			
11	113～	175～	37	97～272	106～	63	75～226	66～194			
12	125～	188～	38	96～269	103～	64	73～224	65～191			
13	133～	193～	39	95～266	100～	65	72～221	64～188			
14	138～	193～	40	94～263	98～245	66	70～219	62～186			
15	141～	192～	41	94～261	95～240	67	68～216	61～183			
16	142～	192～	42	93～259	93～236	68	66～213	60～180			
17	142～	191～	43	92～257	90～233	69	65～209	59～177			
18	142～	188～	44	92～255	88～229	70	63～206	57～175			
19	143～	182～	45	91～253	87～226	71	61～202	56～172			
20	142～	175～	46	90～250	85～224	72	58～198	55～170			
21	139～	168～	47	90～250	83～221	73	56～194	54～167			
22	135～	161～	48	89～248	82～219	74	54～190	53～165			
23	131～	155～	49	88～246	81～218	75	52～185	52～163			
24	128～	151～	50	87～245	80～216	76	50～181	50～160			
25	125～	147～	51	87～243	79～215	77	48～177	49～158			

性ホルモン基準値

LH 基準値 (単位, mIU/mL)

性別	性周期	基準範囲
男性	-	2.2~8.4
女性	卵胞期 (前・後半)	1.4~15
	排卵期	8~100
	黄体期	0.5~15
	閉経後	11~50

FSH 基準値 (単位, mIU/mL)

性別	性周期	基準範囲
男性	-	1.8~12
女性	卵胞期 (前・後半)	3~10
	排卵期	5~24
	黄体期	1.3~6.2
	閉経後	26~120

PRL 基準値 (単位, ng/mL)

性別	性周期	基準範囲
男性	-	4.3~13.7
女性	閉経前 (20~40 歳)	4.9~29.3
	閉経後	3.1~15.4

E2 基準値 (単位, pg/mL)

性別	性周期	基準範囲
男性	-	14.6~48.8
女性	卵胞期	28.8~196.8
	排卵期	36.4~525.9
	黄体期	44.1~491.9
	閉経後	47.0 以下
	妊娠週	
	初期 (4 週 0 日~13 週 6 日)	208.5~4289
	中期 (14 週 0 日~27 週 6 日)	2808~28700
	後期 (28 週 0 日~38 週)	9875~31800

PROG 基準値 (単位, ng/mL)

性別	性周期	基準範囲
男性	-	0.2 以下
女性	卵胞期	0.3 以下
	排卵期	5.7 以下
	黄体期	2.1~24.2
	閉経後	0.3 以下
	妊娠周期	
	初期 (4 週 0 日~13 週 6 日)	13.0~51.8
	中期 (14 週 0 日~27 週 6 日)	24.3~82.0
	後期 (28 週 0 日~38 週)	63.5~174.4

30.4 自己免疫関連

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
サイログロブリン抗体 (Anti-Tg)	血清	0.5	S01	室温	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	28 以下 (IU/mL)	1	7 日間	
抗甲状腺ペルオキシターゼ抗体 (Anti-TPO)	血清	0.5	S01			16 以下 (IU/mL)			
抗ミトコンドリア M2 抗体	血清	0.5	S01		化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA 法)	7.0 未満で陰性 (Index)			
抗 CCP 抗体	血清	0.5	S01			4.5 未満 (U/mL)			
dsDNA 抗体	血清	0.5	S01			12 以下 (IU/mL)			
SS-A 抗体	血清	0.5	S01			10.0 未満 (U/mL)			
ミエロペルオキシターゼ抗好中 球細胞質自己抗体 (MPO-ANCA)	血清	0.5	S01			3.5 未満 (U/mL)			
プロティナーゼ 3-抗好中球細胞 質自己抗体 (PR3-ANCA)	血清	0.5	S01			3.5 未満 (U/mL)			
リウマトイド因子 (RF)	血清	0.5	S01		ラテックス免疫比濁法	15 以下 (IU/ml)			
TSHレセプター抗体ヒト (TR-Ab)	血清	0.5	S01		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA 法)	2.0 未満 (IU/L)			

40.血液ガス・薬物検査一覧

緊急測定対象項目 空欄：該当なし

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取容 器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
血液ガス 動脈血	血液	2.0	血ガス 容器	室温	下記参照	◆主な項目を記載 pH：7.35-7.45 PaCO2：35-45 (mmHg) PaO2：80-100 (mmHg) ctHb：男性 13-17 (g/dL) O2Hb：94-97 (%) COHb：1.5 以下 (%) HHb：5 以下 (%) MetHb：1.5 以下 (%) BE：-2.3-2.3 (mmol/L) cHCO3：22-26 (mmol/L) SO2：92-99 (%) ctO2*：15-23 AG (K+)：10-20 (mmol/L)	1	不可	採血後、速やかに提出して下さい。
血液ガス 静脈血									
血液ガス 動脈血 GLU+LAC									
血液ガス 静脈血 GLU+LAC									
血液ガス NICU		0.075	専用キャ ピラリー						
血液ガス ER 動脈 (ER で検査依頼時のみ使用)		2.0	血ガス 容器						
血液ガス ER 静脈 (ER で検査依頼時のみ使用)									
血糖測定 (POC)	血液	0.01 以上	設定 なし	不可	酵素電極法	70～10 (mg/dL)			

血液ガス分析検査方法

検査項目	検査方法
血液ガス	電極法：クラークおよびセベリングハウス法
電解質項目	電極法：イオン選択電極法
ヘモグロビン分画	スペクトル吸光法
グルコース	グルコースオキシダーゼを含む酵素電極を使用した電流測定法
乳酸塩	乳酸塩グルコースオキシダーゼを含む酵素電極を使用した電流測定法

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
ジゴキシシン	血清	0.5	S06	室温	EIA 法(磁性粒子固相法)	設定なし (ng/mL)	1	7 日間	
カルバマゼピン	血清	0.5	S06		ラテックス免疫凝集阻害法	8.0-12.0 (μg/mL)			
バルプロ酸ナトリウム	血清	0.5	S06			50.0-100.0 (μg/mL)			
フェニトイン	血清	0.5	S06			10.0-20.0 (μg/mL)			
フェノバルビタール	血清	0.5	S06			150-40.0 (μg/mL)			
バンコマイシン	血清	0.5	S06			Trough 10-15 (μg/mL)			
テイコプラニン	血清	0.5	S06		ラテックス免疫比濁法	Trough 15〜3 (μg/mL)			
炭酸リチウム	血清	0.5	S06		吸光光度法	0.60-1.20 (mmol/L)			
シクロスポリン	血液	1.0	P01		酵素免疫測定法	設定なし (ng/mL)			
タクロリムス	血液	1.0	P01		CLIA 法	設定なし (ng/mL)			
テオフィリン	血清	0.5	S06		ラテックス免疫凝集阻害法	10.0~20.0 (μg/mL)			
アセトアミノフェン	血清	0.5	S06		酵素加水分解法	設定なし (μg/mL)			緊急時、随時 測定可能
エタノール	血清	0.5	S06		酵素法	設定なし (mg/dL)		不可	

41.一般検査一覧

■緊急測定対象項目 空欄：該当なし

41.1 尿一般、便、寄生虫

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考	
尿定性判定量	部分尿	10.0	U01	室温	試験紙法		1	原則 不可	生理日は検査を避ける。やむをえない場合は、検査部へ連絡する。 最初と最後の尿は採らずに、中間尿を採取する。 清浄な尿カップに採尿し、速やかに提出する。 検査前に大量のアスコルビン酸（ビタミン C）を摂取しない。 検査前に激しい運動は避ける。	
比重						5.0-9.0				
pH						(-)				
白血球						(-)				
亜硝酸反応						(-)				
蛋白半定量						(-)				
糖半定量						(-)				
ケトン体半定量						(-)				
ウロビリノーゲン半定量						0.1-2.0				
ビリルビン半定量						設定なし				
潜血						(-)				
尿沈渣	部分尿	10.0	U01		鏡顕法	設定なし		不可		
妊娠テスト	部分尿	2.0	U01		免疫クロマトグラフィー法	(-)				
尿中薬物	部分尿	2.0	U01		競合クロマトグラフィー法	(-)				
便虫卵塗抹法	便	小指頭大	F04		直接塗抹法	(-)		1	赤痢アメーバの栄養型の検出は 37℃で保管し、粘液血性部分を 2 時間以内に検査する必要がある。	
便虫卵集卵法	便	拇指頭大	B02		ホルマリン・エーテル法（MGL 法）	(-)				
便セロハンテープ検肛法	蟻虫用セロファン				セロハンテープ検肛法	(-)		不可	早朝排尿前に専用のセロファンで採取してください(蟻虫卵)。	
便ヘモグロビン	便	採便容器先端の溝に埋まるくらい	F01		ラテックス免疫比濁法	(-)				検体は専用容器に添付されている説明書に従って採取し 7 日以内に提出する。
便ヘモグロビン 2 日法						(-)				
便脂肪染色					便	小指頭大				

41.2 髄液、漿膜腔液検査

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
髄液一般検査									
色調	髄液	1.0 以上	B01	室温	目視判定	無色	1	不可	採取後、速やかに提出して下さい。
混濁						透明			
比重						1.005～1.007			
pH						7.4～7.6 (弱アルカリ性)			
細胞数						希釈法 (マイクロピペット法) 半導体レーザーフローサイトメ トリ法シースフローDC検出方式			
多項目遺伝子検査 FilmArray 髄膜炎・脳炎パネル (検出対象の病原体は 下記参照)		0.5 必ず パネルの みで提出	B01		マルチプレックス PCR 法	陰性			受付時間 平日 9:00～16:00 休日/夜間対応不 可、提出された場 合は翌日測定
穿刺液一般検査									
色調	穿刺液	1.0 以上	B01	室温	目視判定	健常者には少量の み存在の為、設定 なし	1	不可	採取後、速やかに提出して下さい。
性状									
比重									
pH									
穿刺液細胞数									
希釈法 (マイクロピペット法)									
穿刺液 M・P 分画					目視法				
穿刺液白血球分画									
関節液一般検査									
色調	関節液	0.3	B01	室温	目視判定	設定なし	1	不可	採取後、速やかに提出して下さい。
性状						設定なし			
赤血球数						設定なし			
白血球数						参考値：200 未満 (/μL) (設定なし)			
結晶						鏡顕法			
肺胞洗浄液 (BALF) 一般	肺胞 洗浄液	設定 なし		室温	鏡顕法 (メイギムザ染色)	設定なし			16：00 までに提出して下さい。

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
CAPD 排液									
CAPD 細胞数	CAPD 排液	10.0	B07	室温	半導体レーザーフローサイトメト リー法シースフローDC検出方式	設定なし	1	不可	至急検体のみ目 視法にて実施し ます。
CAPD 白血球分画					鏡顕法（メイギムザ染色）	設定なし	1～2		

遺伝子検査 FilmArray 髄膜炎・脳炎パネル検査検出対象の病原体

ウイルス（7 項目）		
サイトメガロウイルス（CMV）	ヒト・ヘルペスウイルス 6 (HHV-6)	ヒト・パレコウイルス (HPeV)
水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）	エンテロウイルス（EV）	単純ヘルペスウイルス 1, 2 (HSV-1, 2)
細菌/真菌（7 項目）		
大腸菌 K1 (<i>Escherichia coli</i> K1)	インフルエンザ菌 (<i>Haemophilus influenzae</i>)	リステリア (<i>Listeria monocytogenes</i>)
髄膜炎菌 (<i>Neisseria meningitidis</i>)	B 群レンサ球菌 (<i>Streptococcus agalactiae</i>)	肺炎球菌 (<i>Streptococcus pneumoniae</i>)
酵母様真菌 (<i>Cryptococcus neoformans/gattii</i>)		

42.血液学の検査一覧

緊急測定対象項目 空欄：該当なし

42.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取容器	保存	検査方法	基準範囲	所要日数	追加可能時間	備考
血算									
白血球数 (WBC)	血液	2.0	P01	室温	半導体レーザーフローサイトメトリー法	3.3~8.6 ($\times 10^3/\mu\text{L}$)	1	8 時間	
赤血球数 (RBC)	血液	2.0	P01		シースフローDC検出方式	M: 4.35~5.55 ($\times 10^6/\mu\text{L}$) F: 3.86~4.92 ($\times 10^6/\mu\text{L}$)			
ヘモグロビン (HGB)	血液	2.0	P01		SLS ヘモグロビン法	M: 13.7~16.8 (g/dL) F: 11.6~14.8 (g/dL)			
ヘマトクリット (HCT)	血液	2.0	P01		シースフローDC検出方式	M: 40.7~50.1 (%) F: 35.1~44.4 (%)			
平均赤血球容積 (MCV)	血液	2.0	P01		自動演算	83.6~98.2 (fL)			MCV= HCT/RBC $\times 10$
平均赤血球血色素量 (MCH)	血液	2.0	P01			27.5~33.2 (pg)			MCH= HGB/RBC $\times 10$
平均赤血球血色素濃度 (MCHC)	血液	2.0	P01			31.7~35.3 (g/dL)			MCHC= HGB/HCT $\times 100$
血小板数 (PLT)	血液	2.0	P01		シースフローDC検出方式	158~348 ($\times 10^3/\mu\text{L}$)			
網状赤血球数 (RET)	血液	2.0	P01		半導体レーザーフローサイトメトリー法	9.0~19.0 (‰)			
幼若血小板比率 (IPF)	血液	2.0	P01			1.0~3.0 (%)			
RBC 分布幅 (SD)	血液	2.0	P01		シースフローDC 検出方式	41.2~53.6 (fL)			
RBC 分布幅 (CV)	血液	2.0	P01			12.2~14.8 (%)			
血小板分布幅 (PDW)	血液	2.0	P01			9.6~15.2 (fL)			
平均血小板容積 (MPV)	血液	2.0	P01			9.2~12.0 (fL)			
好中球数	血液	2.0	P01		半導体レーザーフローサイトメトリー法	設定なし			
リンパ球数	血液	2.0	P01			設定なし			
穿刺液血算	血液	2.0	P01		半導体レーザーフローサイトメトリー法 シースフローDC 検出方式 SLS ヘモグロビン法	設定なし			
有核赤血球 (NRBC)	血液	2.0	P01		半導体レーザーフローサイトメトリー法	0 (%)			

検査項目	材料	検体 量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考	
血算（チトラート）	血液	2.7	P02	室温	シースフローDC 検出方式	設定なし	1	不可	EDTA による偽性血小板減少を疑う場合にオーダーして下さい。	
血液像										
白血球形態機械分類	血液	2.0	P01	室温	半導体レーザーによる フローサイトメトリー	NEUT：42.4～75.0 (%) LYMPH：18.2～47.7 (%) MONO：3.3～9.0(%) EO：0.4～8.6 (%) BASO：0.2～1.4 (%)	1	8 時間		
白血球形目視分類	血液	2.0	P01		鏡顕法（メイギムザ染色）	BAND：0.5～6.5 (%) SEG：38.0～4.0 (%) LYMPH：16.5～49.5 (%) MONO：2.0～10.0 (%) EO：0.0～8.5 (%) BASO：0.0～2.5 (%)				
赤血球形態	血液	2.0	P01		設定なし					
血液像特殊染色										
末梢血・ペルオキシダーゼ染色	末梢血塗抹標本			室温	DAB 法	設定なし	1～3	8 時間		
末梢血・PAS 染色	末梢血塗抹標本				過ヨ素酸ソッフ反応	設定なし				
末梢血・鉄染色	末梢血塗抹標本				ベルリン青法	設定なし				
末梢血・α・NB エステラーゼ染色	末梢血塗抹標本				アゾ色素法	設定なし				
末梢血・AS-D・エステラーゼ染色	末梢血塗抹標本					設定なし				
末梢血・エステラーゼ二重染色	末梢血塗抹標本					設定なし				
末梢血・NaF・エステラーゼ染色	末梢血塗抹標本					設定なし				
血中（マラリア原虫）	末梢血塗抹標本				鏡顕法（メイギムザ染色）	(-)	1	不可	鼻汁をスライドグラスに塗抹し直ちに冷風乾燥してください。スライドグラスをケースに入れ、提出する。	
血中（フィラリア）	末梢血塗抹標本					(-)				
鼻汁好酸球	鼻汁塗抹標本					(-)				
喀痰好酸球	喀痰塗抹標本					(-)				

検査項目	材料	検体 量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考	
凝固・線溶系検査										
活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	血液	2.7	P02	室温	凝固時間法	24.1～31.7 (秒)	1	4 時間	必ず規定量採血する。	
プロトロンビン時間(PT)	血液	2.7	P02			PT 時間：8.40～10.6 (秒)				
フィブリノーゲン量(FIB)	血液	2.7	P02			PT%：74.4～120 (%)				
D-ダイマー (D=D)	血液	2.7	P02			PT-INR：0.90～1.10				
血中フィブリン分解産物 (血中 FDP)	血液	2.7	P02			193～412 (mg/dL)				
アンチトロンビンⅢ活性 (ATⅢ)	血液	2.7	P02		吸光度測定法	1.0 未満 (μg/mL)		2 日間		
可溶性フィブリノーゲン-複合体 (SFMC)	血液	2.7	P02			5.0 未満 (μg/mL)				
第Ⅷ因子活性 (F-8)	血液	2.7	P02			77～114 (%)		8 時間		
第Ⅸ因子活性 (F-9)	血液	2.7	P02		感作赤血球凝集反応	陰性		4 時間		
APTT クロスミキシング	血液	2.7	P02			凝固時間法				82～218 (%)
PT クロスミキシング	血液	2.7	P02							70～146 (%)
赤血球沈降速度	血液	2.0	P01							設定なし
血小板凝集能 (薬効判定)	血液	4.5	専用 容器		設定なし					
血小板凝集能 (凝集能正常判定)	患者血液 ：4.5 (2 本) 対象血液 ：4.5 (2 本)		専用 容器			キャピラリー ・フォトメトリー		M：2～10 (mm) F：3～15 (mm)		8 時間
				透光度法		NSR-判定 4～6				
						NSR-判定 4～6		不可	採血後 4 時間以内に 検査終了。	

42.2 骨髓検査

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
骨髓像									
骨髓像	未固定標本 1～2 枚			室温	鏡顕法（メイギムザ染色）	下記参照	2～3	8 時間	
骨髓有核細胞数	骨髓液	0.05	P13		視算法	10.00～25.00 (x10 ⁴ /μL)	1		
骨髓巨核細胞数						50～150 (/μL)			
骨髓像特殊染色									
骨髓・ペルオキシダーゼ染色	未固定標本：各 1～2 枚			室温	DAB 法	設定なし	2～3	8 時間	
骨髓・PAS 染色					過ヨリ素酸ツツ反応	設定なし			
骨髓・鉄染色					ペルリン青法	設定なし			
骨髓・α・NB エステラーゼ染色					アソ色素法	設定なし			
骨髓・AS・D・エステラーゼ染色						設定なし			
骨髓・エステラーゼ 二重染色						設定なし			
骨髓・NaF・エステラーゼ 染色						設定なし			

骨髓像基準値

Myelogram	基準値
M/E	1.50～3.30
Blasts unclassified	0.0 (%)
Myeloblasts	0.2～1.5 (%)
Promyelocytes	2.1～4.1 (%)
Myelocytes	8.2～15.7 (%)
Metamyelocytes	9.6～24.6 (%)
Band	9.5～15.3 (%)
Segmented	6.0～12.0 (%)
Eosino-Immature	0.6～3.5 (%)
Eosino-Mature	0.2～3.7 (%)
Baso	0.0～0.2 (%)

Myelogram	基準値
Monocytes	0.0～0.8 (%)
Lymphocytes	11.1～23.2 (%)
Plasma cells	0.4～3.9 (%)
Atypical Lymphocytes	0.0 (%)
Proerythroblasts	0.2～1.3 (%)
Basophilic Ebl	0.5～2.4 (%)
Polychromatophilic Ebl	17.9～29.2 (%)
Orthochromatophilic Ebl	0.4～4.6 (%)
Macrophages	0.0～0.9 (%)
Mast cells	0.0～0.2 (%)

43.輸血関連検査一覧

緊急測定対象項目

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考	
ABO・Rh(D)血液型	血液	2.0	T01	室温	ビーズカラム遠心 凝集法 又は試験管法	ABO 血液型： A 型、B 型、O 型、 AB 型	※1	3 日	採血管に採血者の氏名を記載する。 原則、交差用とは同時に採血しない。 ※正常判定されるもの	
						Rh(D)血液型： 陽性、陰性				
Rh・Hr 因子	血液	1.6	T01		試験管法	設定なし	1		採血管に採血者の氏名を記載する。	
不規則抗体	血液	5.5	T04		ビーズカラム遠心 凝集法 又は試験管法	陰性	※1	※正常判定されるもの		
直接クームス試験	血液	2.0	P01		試験管法	陰性	1～3	設定なし	採血後の検体は冷蔵保存禁止	
間接クームス試験	血液	5.5	T04			陰性		3 日	採血管に採血者の氏名を記載する。	
産科抗体価	血液	5.5	T04			設定なし				
交差適合試験	血液	5.5	T02		ビーズカラム遠心 凝集法 又は試験管法	適合	1	4 日	原則、血型用とは同時に採血しない。 検体有効期間は、採血日から 4 日間。 採血管に採血者の氏名を記載する。	
輸血前採血保管検体 HBsAg・HBsAb・HBcAb ※HCV コア Ag・HCVAb HIV Ag/Ab ※外部委託検査	血液	5.0	T03		検査方法、基準値等は感染症関連検査参照 ※外部委託検査のため検査部へお問い合わせください					血液製剤（自己血とアルブミン除く） 以外のオーダーと同時に自動で依頼 （感染症等による副反応発生時の調査に 使用）。
輸血後感染症 HBV DNA 定量	血清	0.7	S05		リアルタイム PCR	1.0 未満 (LogIU/mL) 検出せず	2～5	7 日	輸血後 3～4 ヶ月後に主治医が必要と判 断した場合に依頼。HBV DNA 定量は開 栓禁止。	
輸血後感染症 ※HCV コア Ag ※外部委託検査	血清	0.8	S01		※外部委託検査のため検査部へお問い合わせください					
輸血後感染症 HIV Ag/Ab	血清	0.5	S01		化学発光免疫測定法 (CLIA 法)	1.0 未満 (S/CO)	1	7 日		

検査項目	材料	検体量 (mL)	採取 容器	保存	検査方法	基準範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考
輸血後感染症（陽性時確認用） HCV RNA 定量・HIV RNA 定量	血液	5.0	T03	室温	検査方法、基準値等は感染症関連検査参照				開栓禁止
ABO 亜型検査 血清側：抗 A・抗 B 抗体価、不規則抗体スクリーニング 血球側：抗 A 抗 B 吸着解離試験、 直接クームス試験、 血球の被凝集価等	血清	5.5 ×2 本	T04		試験管法	設定なし	3 日	設定なし	必要時に検査室から検査オーダーと採血を依頼。数種類の検査結果から総合的に判断します。
	血球	5.5 ×2 本	T02						
糖転移酵素活性	血液	5.5	T04			設定なし			必要時に検査室から検査オーダーと採血を依頼。

44.微生物関連検査一覧

空欄：該当なし

44.1 一般細菌

	検査材料		容器	採取量	検査項目	検査方法	所要 日数	備考
一般細菌	泌尿器 生殖器系	尿 カテーテル尿 膣・尿道分泌物 羊水 帯下 その他材料	採取容器 一覧参照	採取容器 一覧参照	塗抹鏡検	グラム染色	0～2	
					培養同定	質量分析	1～4	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～5	必ず培養同定と同時に依頼
	口腔内・呼吸器系	咽頭粘液 鼻腔内 喀出痰 気管内採痰 気管支洗浄液 気管内チューブ			塗抹鏡検	グラム染色	0～2	
					培養同定	質量分析	1～4	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～5	必ず培養同定と同時に依頼
	カテーテル先端 ドレーン先端	カテーテル先端 ドレーン先端 その他材料			塗抹鏡検	グラム染色	0～2	
					培養同定	質量分析	1～4	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～5	必ず培養同定と同時に依頼
	穿刺液・血液	胸水 腹水 CAPD 排液 髄液 関節液 静脈血 動脈血 その他材料			塗抹鏡検	グラム染色 墨汁染色	0～7	墨汁染色は、材料が髄液かつ目的菌が真菌の場合に実施
					培養同定	質量分析	1～9	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					嫌気性菌培養同定		3～10	必ず培養同定と同時に依頼
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～14	必ず培養同定と同時に依頼
	消化器	糞便 胃液 胆汁 胃生検 (ピロリ菌) その他材料			塗抹鏡検	グラム染色	0～2	胃生検は実施不可
					培養同定	質量分析	1～4	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					嫌気性菌培養同定		3～5	必ず培養同定と同時に依頼 胃生検は実施不可
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～7	必ず培養同定と同時に依頼

	検査材料		容器	採取量	検査項目	検査方法	所要 日数	備考
一般細菌	その他部位	耳分泌 眼分泌物 創部 褥瘡 膿 皮膚 組織 ドレーン排液 その他材料	採取容器 一覽参照	採取容器 一覽参照	塗抹鏡検	グラム染色	0～2	
					培養同定	質量分析	1～4	必要に応じて生化学的性状に基づく同定法追加
					嫌気性菌培養同定		3～5	必ず培養同定と同時に依頼
					薬剤感受性検査	微量液体希釈法 ディスク拡散法	2～7	必ず培養同定と同時に依頼

44.2 抗酸菌検査

	検査材料	容器	採取量	検査項目	検査方法	所要日数	備考
抗酸菌	喀出痰 気管内探痰 気管支洗浄液 胃液 尿 胸水 腹水 関節液 静脈血 動脈血 その他材料	採取容器一覧参照	採取容器一覧参照	塗抹鏡検	集菌蛍光法	0～2	蛍光法陽性の場合、チール・ネルゼン法で確認
				結核菌 PCR 検査	リアルタイム PCR		
				マイコバクテリウムアビウム マイコバクテリウムイントラセラー PCR 検査		1～7	
				分離培養[液体法]	酸素感受性蛍光センサー法	～8 週	陽性の場合は随時報告
				分離培養[小川法]	変法小川法	4～8 週	陽性の場合は随時報告
				非結核性抗酸菌同定	質量分析	備考参照	培養陽性時に随時実施
				結核菌薬剤感受性検査	マイクロタイター法	7～12 週	培養陽性後実施(初回のみ)
				非結核性抗酸菌 薬剤感受性検査	微量液体希釈法	4～12 週	培養陽性後実施(初回のみ)

44.3 微生物学的検査採取容器一覧

	検査材料		容器	検体必要量 (mL)	備考
一般細菌	泌尿器・生殖器系	尿 カテーテル尿	B02	1	
		膣 尿道分泌物 羊水 帯下	B06	適量	
		その他材料			お問合せ下さい
	口腔内・呼吸器系	咽頭粘液 鼻腔内・	B06	適量	容器[B10]での受付不可
		喀出痰	B02	2~3	
		気管内探痰 気管支洗浄液	B08	2~3	
		気管内チューブ	B05	適量	
		その他材料			お問合せ下さい
	カテーテル先端 ドレーン先端	カテーテル先端 ドレーン先端	B05	適量	
	穿刺液	胸水 腹水 CAPD 排液	B05	1	
		髄液 関節液	B01・B05	1	
		その他材料			お問合せ下さい
	血液	静脈血・動脈血	B03・B04	最適量はボトル 1 本あたり 8~10 (推奨 2 本×2 セット) (小児は下記参照)	

小児血液培養必要量

体重 (kg)	全血量 (mL)	推奨血液培養量(mL)		全血液培養量 (mL)	全血液量に対する割合 (%)
		培養 1 回目	培養 2 回目		
1 以下	50 ~ 99	2		2	4
1.1 ~ 2	10 ~ 200	2	2	4	4
2.1 ~ 12.7	200 以上	4	2	6	3
12.8 ~ 36.3	800 以上	10	10	20	2.5

	検査材料		容器	検体必要量 (mL)	備考
一般細菌	消化器	糞便	F04・B06	適量	<i>C.difficile</i> 毒素 A/B は容器[F04]のみ可
		胃液・胆汁	B02・B05	2~3	嫌気性菌を疑う場合、容器[B05]を使用して下さい
		胃生検（ピロリ菌）	B05	生検組織適量	
		その他材料			お問合せ下さい
	その他部位	耳分泌物・眼分泌物	B06	適量	
		創部・褥瘡	B06	適量	
		膿	B05・B06	適量	
		皮膚・組織	B05・B06	適量	
		ドレーン排液	B05	1	
		その他材料			お問合せ下さい
抗酸菌	呼吸器系	喀出痰	B02	2~3	
		気管内探痰 気管支洗浄液	B08	2~3	
	穿刺液	胸水・腹水・関節液	B05	1	
	血液	静脈血・動脈血	P01	2	
	消化器	胃液	B02	2~3	
	その他部位	その他材料			お問合せ下さい

44.4 迅速、スクリーニング検査

■緊急測定対象項目 空欄：該当なし

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準 範囲	所要 日数	追加可 能時間	備考			
A 群溶連菌抗原	咽頭拭い液 (咽頭後壁・口蓋扁桃)			室温 (採取後すぐ提出)	銀増幅 イムノクロマト法	陰性	1	不可				
ヒトメタニューモウイルス (hMPV)	鼻咽頭拭い液・鼻腔吸引液				イムノクロマト法							
RS ウイルス抗原	鼻咽頭拭い液・鼻腔吸引液				銀増幅 イムノクロマト法				RS ウイルス抗原とアデ ノウイルス抗原は同時 測定可能です。上記 2 項目を同時依頼した 際、ラベルは 1 枚のみ 発行され、検体提出も 1 本となります			
アデノウイルス抗原	鼻腔・鼻咽頭拭い液 鼻腔吸引液											
インフルエンザウイルス A/B 抗原	鼻腔拭い液・鼻腔吸引液 鼻咽頭拭い液											
マイコプラズマ抗原	咽頭拭い液											
肺炎球菌抗原 (尿)	部分尿	3.0	U01		イムノクロマト法							
レジオネラ抗原 (尿)	部分尿	3.0	U01									
便ロタウイルス/ アデノウイルス抗原	直腸便	綿球全体	F04/ B10	室温					リアルタイム PCR 法	直腸便の場合、検体採 取用滅菌綿棒での提出 も可能です。		
	糞便・水様便	小指頭大										
便ノロウイルス抗原	直腸便	綿球全体	F04 B09		室温						電気化学発光免疫測 定法 (ECLIA 法)	
	糞便・水様便	小指頭大										
SARSCoV2 PCR	鼻腔・鼻咽頭拭い液		専用 容器	室温					マルチプレックス PCR 法	受付時間 平日 9:00～15:00 休日/夜間対応不可		
SARSCoV2 抗原	鼻腔・鼻咽頭拭い液		専用 容器									
多項目呼吸器核酸パネル検査 (原則 小児科限定)	鼻腔・鼻咽頭拭い液		専用 容器									